Rotary District 2680

CREATE HOPE in the WORLD

GOVERNOR 2023-24

Governor's Monthly Letter

2023-24

GOVERNOR

Eibun Yasuyuki

OFFICE

Kobe Portopia Hotel 722,6-10-1,
Minatojima-Nakamachi,Chuo-ku,
Kobe,Hyogo,650-0046,Japan

8

Feb.2024

Rotary
District 2680

2680地区戦略計画（2023-2026年）

1. より大きなインパクトをもたらす

- ●ロータリー財団補助金を活用し、地域社会や世界で良い変化を生み出すインパクトのある奉仕プロジェクトを実践する。
- ●ロータリーのブランドと公共イメージの向上に努める。

2. 参加者の基盤を広げる

- ●クラブの会員組織強化に努め、仲間を増やす。
- ●多様な人々の参加を促し、DEI（多様性・公平さ・インクルージョン）を実現する。
- ●青少年の活動を支援し、若いリーダーの育成に努める。

3. 参加者の積極的なかかわりを促す

- ●全クラブが将来のビジョンや戦略計画を策定する。
- ●My ROTARYの登録を推進し、積極的に活用する。
- ●地区やクラブが実施する行事やセミナーに積極的に参加し、感動的な体験を積み重ね、ロータリーの理解を深める。

4. 適応力を高める

- ●オンライン技術の能力を高め、社会の変化に迅速に適応する。
- ●ハラスメントのない環境作りに努める。

数値目標

●**会員増強**	各クラブ純増毎年1名以上
●**My ROTARY登録率**	75%以上
●**ロータリー財団年次基金**	毎年1名あたり　160ドル
●**ロータリー財団恒久基金**	ベネファクターまたは遺贈友の会会員　毎年10名増
●**ポリオプラス基金**	毎年1名あたり　40ドル
●**米山記念奨学会**	毎年1名あたり　17,000円

Be（どうあるべきか）

Know（何を知っているのか）

Do（何をすべきなのか）

今月の表紙「とんど（どんど）焼き　於：えのき公園」

三田市の駅前区と新地区の共催で「えのき公園」にて実施いたしました。
令和６年能登半島地震によって被災された皆さまを悼み、一日も早い生活再建を祈念するとともに地域の皆さんの無病息災、子どもたちの健やかな成長を願う機会になりました。

CONTENTS

月信8号

GOVERNOR'S LETTER…… 1
公式訪問報告及び会長テーマ（RC&RAC）… 3
地区立法案検討会及び報告会…… 6
社会奉仕セミナー…… 7
2024-25年度補助金管理セミナー…… 8
西播第2グループIM…… 9
青少年交換学友会主催クリスマスパーティ… 9
地区補助金（奉仕プロジェクト）報告…… 10
12月の地区活動記録…… 12
ガバナー事務所からのお知らせ…… 12
コーディネーターNEWS 2024年１月号… 13
新会員のご紹介…… 16
ご寄付ありがとうございます…… 16
訃報…… 17
会員数報告

国際ロータリー第2680地区
ロータリークラブの皆様

国際ロータリー第2680地区
ガバナー **安 行 英 文**（三田）

平和構築と紛争予防月間の今月、世界はより混沌とその複雑さ・脆弱さを増しているように思えてならない年明けとなりました。また年初を襲った石川県・能登半島の激震で、いまだに行方の分からない方々、亡くなった方々がおられ、家や会社、その他の大事なものを一瞬に失った方々の心の喪失感はいかばかりか、考えるだけで心が痛み、何かしなくてはと悶々と一日をすごしている状況です。被災された方々、家族を失った方々、家を失った方々、生活の糧を失った方々、心からお見舞い申し上げます。

当地区でもすでに皆様に支援のお願いをしておりますが、ガバナー会を通して被災地区のガバナーより支援要請がありましたので、大規模災害救援特別会計からの支出と併せて、被災地区へお送りする所存であります。どうか引き続きの各クラブのご協力をお願いいたします。

RYLA（ライラ）の役割と可能性

さて、今月は平和構築と紛争予防月間です。今年の地区のテーマでもありますが、「平和に貢献」は私の生涯にわたるテーマでもあります。今井鎮雄元RI理事の意志を受け継いで私の中にある構想がずっとあり、その一つが、日本で、アジア版「シーズ・オブ・ピース」のような紛争解決のキャンプができないかと考えているのです。その基礎となるのが、このRYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）をそのまま流用できないかと思っています。

以下この「シーズ・オブ・ピース」というプログラムのエピソードが、ロータリーが目指すこれからの世界平和への皆様の行動につながれば幸いです。

敵対民族の子どもを集めた交流キャンプ「シーズ・オブ・ピース」

オリーブの葉をデザインしたSeeds of Peace（シーズ・オブ・ピース＝平和の種）というロゴが入ったグリーンのネクタイ。ヨルダンの故フセイン国王は「中近東の民族対立が解決し、平和の訪れる日がいつかやってくる」という願いを託し、このネクタイを亡くなるまで毎日、身に付けていたそうです。

「シーズ・オブ・ピース」とは、中近東専門ジャーナリスト、故ジョン・ワラックが始めた敵対民族のティーンエイジャーを対象としたサマーキャンプ・プログラムを主宰する団体です。

敵同士の若者を集めるという快挙

数百年、いや数千年におよんで、敵対心を持ち続け、傷つけあっている民族が世界中に数多く今でも存在しています。そのいがみ合いの歴史は、聖書に記されており、世代から世代へと語り継がれているのですが、敵対心の根拠になる事実がいったい何なのか、もはや誰にも定かには解らなくなっています。

感情的な不調和が根底にあり互いに領地の権利を主張しあい、さらなる緊張が加わって、ただひとつ明らかなのは、その溝によって現在もいがみ合いや、紛争が繰り返され、多くの命が毎日のように失われていると言うことです。

1993年８月、３週間にわたる第１回シーズ・オブ・ピース・サマーキャンプが催され

ました。
美しい自然で知られる米国北東部のメイン州に、パレスチナ系アラブ人とイスラエル系ユダヤ人のティーンエイジャー45人が集まりました。自国へ戻れば敵同士の若者たちです。

あえて互いの傷口をすり合わせる

シーズ・オブ・ピースでは、キャンプの参加者やカウンセラーは全員、ロゴが入ったグリーンのTシャツを着て、スポーツに興じたり、ダンスをしたり、楽器を演奏したりします。そのかたわらで毎日、顔と顔を突き合わせて、両民族の関係について議論するクラスが設けられています。
自分たちの母国語ではない「英語」という共通の外国語を使い、日常から離れた場所で議論するのです。そこでは、より客観的に互いの敵対感情や両民族のいがみ合いを見つめていきます。議論の調停役も、どちらの民族にも属さない、第三者の米国人が務めます。参加しているのは、将来のリーダーとなる素質を備え、議論ができる程度の英語力を持つ若者ばかりです。各政府から選ばれ、まさに「平和の種」として送られてくるのです。

３週間の「芝生」キャンプの間に、一人ひとりが辛い身の切れるような経験をします。今まで「黒」と教えられ、家族も友達も親戚も「黒」だと信じて疑わないものが、「実は白なんだ」とわかり始めるプロセスで味わう痛みです。
パレスチナ系アラブ人とイスラエル系ユダヤ人が１対１で向かい合うことになります。

「お前たちは悪魔だ。僕のおじいさんも、父親も、おまえたちのおかげで死んだんだ」
「何を言っているんだ。僕の兄弟だって、君たちイスラエル軍に殺されたんだぞ」

何時間も何時間も憎しみを吐き出すことになります。このクラスを、何日間も繰り返していくのです。そのうちに、いったい僕たちは何をしているんだろう。愚かなのは、憎しみを持ち続け、殺し合いを止めないことだ、という感情が爆発します。涙をだしきったあとには、かすかに希望の芽が生えてくるのです。

深い憎しみを熱い友情に変える

からみきった糸がわずかに少しずつほぐれていくような体験が22日間に起こっていきます。
ある15歳の少女は次のように話します。「私はまだ、私の妹や祖父を殺したパレスチナ人を許せない。でもこのキャンプで会った個人としてのパレスチナ人には、心の触れ合う友情を感じてしまう。人を十把一絡げにした紋斬り型イメージと、個人としての人間とは、まったく別のものだってことがわかったかな。でもイスラエルに帰ってから、パレスチナ人を悪魔だと思っている私の家族や学校の友達に囲まれてこの気持ちをどんなふうに持ち続ければよいか、持ち続けることができるのか、自信はないの」
こういった参加者の不安に応えてキャンプ後の友情を持続させるために1999年、エルサレムに「共存センター」が建設されました。戦時下のエルサレムに立てられた３階建て、465平米のこのセンターはイスラエル政府とパレスチナ議会から承認され、両民族の交流する友好の場として創設され現在に至っています。

1993年に45人のパレスチナ人とイスラエルのティーンエイジャーを集めて始まったサマーキャンプの参加者は、2000年までに約3,000人、2005年夏にはさらに約300人が集まりました。
シーズ・オブ・ピースの極めて崇高でしかも実践的な驚くべき活動は、国連や米国政府、英国政府から高い評価を受け、2000年には、ユネスコ平和賞を受けました。

このようなプログラムは当地区のRYLA、世界のロータリーが行っているRYLAに導入できるはずです。このプログラム構築をこれから考えていこうと私なりに思う今日この頃です。

公式訪問報告及び会長テーマ（RC&RAC）

HYOGOロータリーEクラブ　11/6（月）

会　　場：ホームページ上　https://eclub.hyogo.jp/meeting
開催形式：ハイブリッド（通常：オンライン）

～会長テーマ～

私たちが自ら楽しみながら／世の中の役に立つ／ポジティブな輪を広げたい!!

今年度終盤10周年を迎える当クラブは、ネットの例会記事を通じた参加方式が特徴で、忙しい方や健康問題、対面コミュニケーションが苦手な人々にも例会参加可能です。反面、会員同士顔を合わせるのも難しい現状ですので、工夫し、楽しんでポジティブな進化を目指します。（会長：渡邊 誠）

香住ロータリークラブ　11/7（火）

会　　場：香住区中央公民館
開催形式：通常開催

～会長テーマ～

『3,000回例会』を機に一層の発展を！

1961年に発足したわがクラブは、この9月で記念すべき『3,000回例会』を迎えました。
これを機にさらに会員の増強に努め、奉仕を理念とした活動を一層進めて行きたいと思っています。（会長：亀村 清輝）

加古川平成ロータリークラブ　11/8（水）

会　　場：加古川商工会議所
開催形式：通常開催

～会長テーマ～

「To be one, we forward one.」協調し一歩前進

2023-24年度は当クラブからガバナー補佐を輩出し、I.M.を開催します。また当クラブ35周年を迎え、ささやかながら周年行事も行います。地区補助金を利用した社会貢献活動も行います。なにかと行事の多い年度となります。少数精鋭の皆さんですべての事業を成功に導きましょう。また傍観者のないクラブつくりを目指しインクルーシブなクラブとして着実に歩みをすすめましょう。（会長：林 知宏）

西宮恵美寿ロータリークラブ　11/9（木）

会　　場：ホテルヒューイット甲子園
開催形式：ハイブリッド

～会長テーマ～

親睦と職業奉仕

「親睦と職業奉仕」に焦点をあてる。例会等では職業奉仕への理解を高める。例会や各奉仕活動、親睦活動事業へ積極的に参加して、連帯意識を向上したい。そして会員相互の個性を磨き、より魅力のあるクラブになることを目指す。（会長：森 英貴）

豊岡円山川ロータリークラブ　11/14（火）

会　　場：アールベルアンジェ豊岡
開催形式：通常開催

～会長テーマ～

持続可能なクラブのDESIGNを描く

我がクラブは来年度、創立50周年を迎えます。「戦略計画委員会」を設置し、クラブのビジョンと戦略計画を策定し、将来にわたり持続可能なクラブへのデザインを描き、次年度への橋渡しを行う1年にしたいと思います。（会長：岡本 慎二）

芦屋ロータリークラブ　11/15（水）

会　　場：ホテル竹園芦屋
開催形式：通常開催

～会長テーマ～

ロータリーを楽しもう！

ロータリーの入会動機として奉仕を挙げる人はほとんどいません。多くの人が、ロータリーを通じて新しい人々と出会い、地域社会と交流することを考えて入会し、その中で楽しさを見出し、それが職業奉仕や国際的な奉仕親善活動へとつながると期待しています。（会長：里深 久起）

和田山ロータリークラブ　11/16(木)

会　　場：ル・パルク
開催形式：通常開催

～会長テーマ～

ロータリーを味わいましょう！

1981年（昭和56年）４月に創立、会員数は22名。地区補助金プロジェクトにも積極的に参加している元気いっぱいのクラブです。地元との連携を大切にしながら魅力あるプログラムに磨きをかけています。（会長：田村 敏胤）

三田ロータリークラブ　11/28(火)

会　　場：ザ・セレクトンプレミア神戸三田
開催形式：通常開催

～会長テーマ～

安行ガバナー年度、全員で盛り上げよう

安行ガバナー年度が輝く年度となるよう、一致団結して支えていきたい。全員で考え取組むことにより、ロータリアンとしての自覚、当クラブの存在意義や使命が明らかになり、クラブの未来に対する展望が見えてくる。（会長：今垣 均）

以下ローターアクトクラブ

公式訪問報告です。

加古川中央ローターアクトクラブ　12/7(木)

会　　場：加古川商工会議所
開催形式：通常開催

～会長テーマ～

「立」

新型コロナウイルスの影響を受けて加古川中央RACは会員数が大きく減少し運営が危ぶまれましたが、前年度で土台を再建し活動を続けられました。今年度は当クラブを成り立たせたいという思いをテーマに込めました。（会長：藤田 裕深）

豊岡ローターアクトクラブ　12/12(火)

会　　場：来迎寺
開催形式：通常開催

～会長テーマ～

悔いなく、惜しみなく

個人が与えられた役割を全うし、全員で協力することで様々な活動を成し遂げてきました。豊岡RACはまだまだしたい活動をたくさん秘めています。したかったけどできなかった、やらずして後悔した、そういった思いを晴らそうという意味を込めてこのテーマにしました。今まで経験したことを次の世代へ引き継ぐと同時にこれまでお世話になった方への恩返しの意味を込めてこの1年の時間を大切に活動していきたいと思います。（会長：川辺 愛子）

姫路ローターアクトクラブ　12/13(水)

会　　場：イーグレ姫路セミナーA
開催形式：通常開催

～会長テーマ～

発案実行

今現在どのクラブも「何かしないといけない…」と言う風に追われている印象があります。コロナの関係でどのクラブも自分たちの企画をすることができないという2680地区全体の雰囲気を姫路RAC発信で企画の輪を広げていこう！（会長：匂梅 秀輝）

淡路ローターアクトクラブ　12/18 月

会　　場：洲本商工会議所
開催形式：通常開催

～会長テーマ～

Power of community

昨年度は当クラブが主体となり、地元でRACのことを認知していただけるような活動が充分にできなかったと感じています。今年度は、淡路島内での活動を活発にし、地域に貢献したいという想いを込めてこのテーマとしました。（会長：西原 宗一郎）

尼崎西ローターアクトクラブ　12/19 (火)

会　　場：尼崎K.R.ビルディング5F
開催形式：通常開催

～会長テーマ～

深根固柢

当クラブは創立直後に新型コロナウイルスの影響で活動が中止、年々部員は減少。今期はクラブの軸となる活動を創出し、次年度以降も楽しく末長く活動が続けられる土台作りに取り組みます！（会長：小川 裕大）

芦屋川ローターアクトクラブ　12/20 (水)

会　　場：ホテル竹園芦屋
開催形式：通常開催

～会長テーマ～

new challenger

コロナ禍によってこれまでの活動で築き上げてきた関係や交流が途切れてしまい、再度イチからの始まりである事や私自身が今年度からの参加であり、沢山のチャレンジを行っていく上で自分が「挑戦者」であるという心を大事にする為、このテーマとしました。（会長：加来 将司）

神戸須磨ローターアクトクラブ　12/21 (木)

会　　場：和田神社
開催形式：通常開催

～会長テーマ～

Let's do it together!

昨年度の課題であった、例会や活動の参加率が低いこと、参加メンバーが固まってしまっているという現状を解決し、クラブメンバーみんなで一緒に例会や活動を行っていきたいという思いを込めております。（会長：藤野 広大）

地区立法案検討会及び報告会

12月２日(土)◆神戸市教育会館

規定審議委員長　林　知宏(加古川平成)

出席者（安行英文ガバナー、三木明TRF管理委員、滝澤功治代表議員、阪上栄樹信任状委員長、選挙人48名、当委員会７名（うち２名選挙人））

ガバナーの開会挨拶、立法案検討会開催と主旨説明。

RI細則15.040.3. 地区大会および地区立法案検討会の決定

RI細則15.050.1. 選挙人

各クラブは少なくとも1名の選挙人を選び、その地区の大会および立法案検討会（開催される場合）への選挙人として証するものとする。（中略）←信任状証明書のことを指す

投票するためには、選挙人は大会または立法案検討会に出席していなければならない。

RI細則15.050.2. 地区大会および立法案検討会の投票手続

（前略）*立法案検討会に提出されたいかなる案件についても、出席しているクラブの瑕疵なき会員は誰であれ、たとえその案件について投票できない会員であっても、票決を求めることができる。*

RI細則15.050.3. 委任状による代理者　←委任状のことを指す

（前略）*その委任状による代理者は、既に持っている投票権のほかに、欠席選挙人に代わってその投票権も行使することができる。*

議長はガバナーが就任。信任状委員会から委員長より報告。2680地区68クラブ、議決権総数102、信任状提出クラブ52クラブ、委任状提出クラブ27クラブ32人（うち議長委任26クラブ26人）、信任状未提出16クラブ18人、欠席選挙人2人、議長票を加算議決権総数　83

☆第１号議案　制定案

「クラブ例会の終了時刻をクラブ細則に明示する件」

2680地区提案

採決　⇒　可決

賛成46票 反対37票（会場10、議長委任26、議長１）

☆第２号議案　制定案

「移籍ロータリアンと元ロータリアンが自薦できることを明示する件」

宝塚RC提案

採決　⇒　否決

賛成 24票 反対47票（会場20、議長委任26、議長１）

12票棄権

☆第３号議案　制定案

「代表議員の任期満了後、後任者が選出証明されていなく任期を延長した場合、「再任は一期までとする」と追加明示する件」

加古川中央RC提案

採決　⇒　可決

賛成 37票 反対36票（会場６、議長委任26、議長１）

17票棄権

☆第４号議案 制定案

「規定審議会の開催を延期することを可能とするとともに、延期したときは代表議員の任期を延長するように改正する件」

神戸須磨RC提案

採決　⇒　採択

賛成 59票（会場32、議長委任26、議長１）反対７票

17票棄権

立法案検討会は多少の混乱もあったが、スムーズに終えることができた。

最後に2023年決議審議会結果報告及び前回規定審議会報告、昨年クラブ宛アンケートについて説明して終了。

社会奉仕セミナー

12月２日(土)◆神戸ポートピアホテル　布引･北野

社会奉仕委員長　喜多　美雄(加古川中央)

開会の挨拶を瀬戸徹社会奉仕カウンセラーよりいただいてのち、安行英文ガバナーより社会奉仕活動の重要性のお話とご挨拶がありました。

喜多美雄社会奉仕委員長よりセミナーの趣旨について、地区補助金の原資と2023-24年度の利用可能なDDF（地区財団活動資金）、そして地区補助金プロジェクトを実施することにより、会員同士の絆が深まることや地域に対してロータリークラブの理解が深まり、会員の退会防止、会員増強につながっていくことができるとの説明ありました。

続いて、岩井秀樹副委員長より「ロータリーの社会奉仕」と題して、社会奉仕についてのお話がありました。その中で、過去６年間の地区補助金申請件数の報告とともに、社会奉仕プロジェクトとは地域社会と関連しており、ロータリークラブの役割を見出すことができ、現状の支援源をもってロータリアンがどのような援助ができるかを判断することができる学びの機会であるので、クラブ内で社会奉仕活動の取り組みを共有してくださいとの呼びかけがありました。

小坂圭一社会奉仕小委員長から「アンケート結果と補助金申請、報告の実際」として、社会奉仕活動アンケート回答結果の考察とともに、社会奉仕事業実施クラブ37クラブ、地区補助金プロジェクト事業13件、奉仕プロジェクト特別会計支援事業２件、独自事業実施クラブ26クラブ、独自事業件数43件、奉仕事業総数57件、中止された補助金事業４件との報告がありました。また、地区補助金報告書について、申請と決算の関係や決算報告のよくある間違い、報告の際の注意点について説明がありました。

田中正喜プロバスクラブ小委員長よりプロバスクラブの理念や発祥、世界のプロバスクラブ、日本プロバス協議会の歩み等の説明の後、兵庫県下の13グループには最低１クラブのプロバスクラブがあり、現在24クラブ、339人、内女性88人（26％）平均年齢73歳～82才、月に１回例会を行うことや、問題点として高齢化、会員の減少があげられるとの説明がありました。今後のプロバスクラブとロータリークラブについて、交流を通じて連携をとりながら、お互いに学び成長できればとのお話がありました。

次に、神戸モーニングロータリークラブより「北野こどもと外国人の交流会」（2023年２月11日(土・祝）北野工房のまち・３階講堂）の地区補助金プロジェクト事例発表がありました。設立７年目で初めて地区補助金を使用したプロジェクトを企画した経緯のほか、開催方法として、クラブの地元である三宮・元町地区で学童保育施設・外国人のための日本語教室を運営し、クラブとの交流もある認定NPO法人まなびととの共催を選択した理由、まなびとの学生ボランティアスタッフとともに、会員が企画会議に参加し、イベントでの学童保育児童、外国人の発表内容・出し物を決定していった経緯、具体的な出し物の準備は、基本的に学生ボランティアスタッフに任せ、会員は企画への参加と、当日の運営への積極的な協力に専念した事情、当日のイベントが予想以上に盛り上がった状況を、当日撮影した写真等を含んだスライドを用いて説明しました。

竹田契一社会奉仕小委員より「ロータリー会員に知って欲しい、青年期発達障害の特性理解」についての講話をしていただきました。冒頭で世界と日本の識字率や学習障害LD（learning disabilities）の説明がありました。聞く力の障害と音韻の聞き分け弱さや聞こえているのに聞き取れない聴覚情報処理の障害の問題、見え方に困難を抱えるケース、自閉スペクトラム症（ASD）の特性や発達障害の最新研究の説明がありました。

セミナーの最後は、矢坂誠徳ガバナーエレクトより講評をいただき閉会いたしました。

社会奉仕委員会として今後は、地区補助金（奉仕プロジェクト）予備審査及び竹田委員の講話に重点をおき、委員会活動を進めていきます。

2024-25年度補助金管理セミナー

12月10日(日)◆神戸ポートピアホテル　和楽

補助金小委員長　秦　紳一郎(洲本)

2024-25年度ロータリー財団の補助金申請に向けた補助金管理セミナーを開催いたしました。このセミナーはロータリー財団の地区補助金およびグローバル補助金を申請するにあたり出席が義務付けられており、クラブの参加資格認定の必須条件となっております。セミナーにはクラブ会長エレクトを中心に60クラブから72名の参加があり、地区関係者を含め約110名が出席をしました。今回は初めてローターアクトの参加もありました。

まず開会にあたっての挨拶で矢坂誠徳ガバナーエレクトは、「すべてのクラブに補助金を使ったプロジェクトを実施してもらいたい。ただし、補助金を使うためにプロジェクトをするのではなく、地域のニーズに沿ったプロジェクトを立案してその実施に当たって補助金を利用して欲しい」と述べられました。

セミナーは６つのセッションで行いました。

セッション１では、ロータリー財団管理委員である三木明元RI理事に「ロータリー財団の使命」という演題で基調講演をいただきました。管理委員会委員の立場から財団の国際的でグローバルな面や信頼度などについてお話をいただきました。

セッション２の①では、秦紳一郎補助金小委員長が配布資料と改訂された「補助金申請・補助金管理マニュアル2023」の使い方などを説明した後、クラブの参加資格や今後の手続きなどについて説明いたしました。セッション２の②では小坂圭一社会奉仕小委員長から地区補助金（奉仕プロジェクト）申請にあたっての留意点とガイドラインについて詳しくお話ししました。特に申請書と報告書作成に当たってのポイントの詳細な説明がありました。

セッション３では、鎌谷正弘奨学金・平和フェローシップ小委員長より地区奨学金（タイプ１，２，３）、グローバル補助金（奨学金）の説明と申請の留意点や本年度の奨学生の紹介などがありました。

セッション４は有川裕之国際奉仕小委員長からグローバル補助金（人道的プロジェクト）の説明および申請の留意点の説明があり、クラブ拠出金に対するDDF（地区財団活動資金）とWF（国際財団活動資金）の上乗せも説明がありました。

セッション５では中井章詞VTT小委員長から地区補助金（VTT）・グローバル補助金（VTT）の違いとその中身についても説明がありました。

セッション６は、各グループ単位のテーブル内で、次期ガバナー補佐とクラブ参加者が約30分間にわたり、地区補助金及びグローバル補助金やそれ以外の事についてグループディスカッションを行いました。

今年も「補助金申請・補助金管理マニュアル」をより使いやすくしようと一部改訂いたしましたので、ご活用いただきたいと思います。各クラブから地区補助金及びグローバル補助金の申請をお待ちしております。

西播第２グループIM

12月16日(土)◆ラヴィーナ相生

西播第２グループガバナー補佐　半田　齊(相生)

令和５年12月16日(土)、ラヴィーナ相生にて安行英文ガバナー、若林学代表幹事をはじめ10名の来賓を迎え、95名の参加を得て開催されました。「私たちの巨樹と気候風土」というテーマで、庭樹園園主で樹木医でもある阪上栄樹直前ガバナーに基調講演をしていただき、榊努会員（赤穂）、圓尾哲也会員（龍野）、寺本英徳会員（上郡佐用）、下田信治会員（相生）が各クラブエリア内の巨樹・古樹について発表しました。身近な巨樹・古樹について理解を深め、気候風土、環境、生態多様性について理解を深める機会となりました。

青少年交換学友会主催クリスマスパーティ

12月17日(日)◆Itsu葉

青少年交換小委員長　小倉　克輝(姫路東)

12月17日(日)の青少年交換来日生・派遣候補生オリエンテーションの後、青少年交換学友会の主催でクリスマスパーティが開催されました。参加者は今年度の来日生５名とそのホストファミリー、次年度の派遣候補生５名とそのご家族及び安行英文ガバナーをはじめとする青少年交換関係ロータリアンの総勢56名でした。貸切りのパーティー会場にて沢山の料理をいただきながら、ビンゴ大会などで大いに盛り上がりました。

来日生５名は日本に来てちょうど４か月が経過し、やっと日本に慣れてリラックスした様子で楽しんでくれました。残り約６か月でもっと成長してくれることを期待しています。

派遣候補生５名にはそれぞれの派遣国がこの日に発表されました。良い派遣生活ができるようにしっかりと必要な準備をしていきたいと思います。

神戸東ロータリークラブ

ホスピスボランティア ハワイ研修プロジェクト

▶2023年9月23日（土・祝）～28日（木）
▶アメリカ合衆国　ハワイ州　ホノルル　第5000地区
プロジェクト予算総額：1,847,513円　地区補助金額：400,000円

2023年９月23日～同年９月28日地区補助金によるVTT「ホスピスボランティアハワイ研修プロジェクト」を実施。本VTTでは、ホスピスボランティア（HV）先進国アメリカのプログラムに基づき、直接指導、意見交換を通して、日本のHVの終末医療に携わる資質・能力の向上が見られ、国内の地域のリーダーとなり得る資質が得られました。一方、現地では、日本的こころのケアや、日本人特有の接し方を学びたいと言うニーズに応えました。さらに、今回の交流を通じて、今後、さらなる緊密な情報交換及び交流の人脈の構築が出来ました。また、研修終了後の11月14日神戸東RCの卓話時間に研修成果を発表しその成果判定を行い、提唱クラブとしてその成果を確認しました。　（文責：国際奉仕委員長　中井 章詞）

姫路西ロータリークラブ

姫路西ロータリークラブ杯 少年ソフトボール大会

▶2023年8月27日（日）
▶青山グラウンド・青山小学校グラウンド
プロジェクト予算総額：426,030円　地区補助金額：213,015円

まだまだ暑さの厳しい８月27日、『姫路西ロータリークラブ杯ソフトボール大会』を開催しました。当日は16チーム、選手・関係者・父兄を含め約500名が青山グランドに集まり、熱戦が繰り広げられました。私たち姫路西ロータリークラブは賞品提供・運営手伝いのほか、『熱中症ゼロ・プロジェクト』を立ち上げ、熱中症防止のためのペットボトル飲料を参加者全員に無償配布するというプロジェクトを実施し、500本以上準備した飲料は終わるころにはすべて無くなっていたことからも、皆様に喜んでいただけたのではないかと思います。全試合終了後、表彰式を行い各ブロックの優勝・準優勝ほか姫路市長賞や姫路市教育長賞などたくさんの賞を一日汗を流した子供たちに授与し、盛大に幕を閉じました。
（文責：青少年奉仕委員長　山田 剛）

和田山ロータリークラブ

子ども食堂の運営、継続支援共同プロジェクト

▶2023年9月23日(土･祝)
▶たけだスマイル食堂(朝来市和田山町竹田530)
プロジェクト予算総額:235,360円　地区補助金額:117,680円

子ども食堂は子ども達の空腹を満たすためだけではなく、家庭のぬくもりや同じ境遇の子ども達や携わる人々の優しさが集う心の拠り所でもあります。

しかし、物価エネルギー等の高騰により運営に大変な不安と大きな悩みを抱えており、存続も危機的状況です。そこで今後も運営を持続継続していただくために、備品、調理機材の寄贈、スタッフ募集、食材の確保、物品提供業者への支援要請を行い、必要品手配と実働スタッフ協力、活動PRを行いました。

寄贈式典の後、ボランティアの方々が作られたお弁当を子ども達が食べる姿を見る事ができ、たくさんの笑顔に出会え、充実感が強く残る事業となりました。

(文責：会計監査　世登 道徳)

明石東ロータリークラブ

市民を集っての納涼寄席

▶2023年8月24日(木)
▶舞子ビラ神戸　あじさいホール(神戸市垂水区東舞子町18-11)
プロジェクト予算総額:288,760円　地区補助金額:144,380円

新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から、３年半の間、人々との直接的な交流が抑制されてきました。今回、市民を募って合計200名超の方々に伝統芸能であり大衆芸能である寄席を提供しました。せっかくのプロジェクトでありますので、知ってもらい、集まってもらい、満足して帰ってもらう事を念頭に、安全面を重視し、無事に終える事ができ、ホッとしています。反省点もいろいろありますが、会員の一人が言ってくれました。「いろいろと大変なこともあったけれど、会場が笑いに満ち溢れていた。本当に喜んでもらった。それで、満足だった」機会があれば、また、行いたいものです。

(文責：社会奉仕委員長　日置 晴喜)

◆12月の地区活動記録

日	時	行　事　名	場　所
1（金）	16：00～17：00	第２回地区運営会議	ホテル若水
2（土）	13：30～16：00	社会奉仕セミナー	神戸ポートピアホテル　布引・北野
	14：00～16：00	地区立法案検討会及び報告会	神戸市教育会館　大ホール
	16：00～17：30	第５回DEI小委員会	神戸三宮東急REIホテル　ジャスミン
3（日）	11：00～12：30	第４回RYLA小委員会	神戸駅前研修センター／オンライン
	17：00～18：00	第５回ガバナー補佐会議	西村屋　和味旬彩
5（火）	18：00～20：00	第６回全国インターアクト研究会実行委員会	ガバナー事務所会議室
6（水）	15：00～17：00	第５回地区財務委員会	ガバナー事務所会議室
	15：30～17：30	第4回資金推進・ポリオプラス・ロータリーカード推進合同小委員会	神戸三宮東急REIホテル　ローズ
9（土）	9：00～17：00	2024学年度米山記念奨学生面接選考会	三宮研修センター
10(日)	10：00～12：00	2024-25年度第２回ガバナー補佐会議	神戸ポートピアホテル　菊水
	13：30～16：30	2024-25年度補助金管理セミナー	神戸ポートピアホテル　和楽
14(木)	16：00～17：00	第２回ガバナー指名委員会	ガバナー事務所会議室
	17：00～18：00	第２回ガバナー諮問委員会	神戸ポートピアホテル　聚景園
16(土)	15：00～18：00	第６回RLI委員会	レンタルスペースジェム神戸元町
	16：00～17：00	第６回インターアクト小委員会	神戸三宮東急REIホテル　ボールB
17(日)	10：00～12：00	ローターアクト地区連絡協議会	しあわせの村／オンライン
	10：00～12：00	第６回青少年交換小委員会	レンタルスペースジェム神戸元町
	13：00～14：30	第２回青少年交換派遣候補生・第４回来日生オリエンテーション	レンタルスペースジェム神戸元町
	13：00～16：10	ローターアクトスポーツ大会	しあわせの村
	14：00～17：00	RYLAプレカウンセラーミーティング	神戸三宮東急REIホテル　ローズ
	15：00～17：00	ROTEX主催・派遣候補生来日生クリスマス会	itus葉（いつは）
22(金)	16：00～17：55	第２回環境の保護小委員会	神戸ポートピアホテル　パール
26(火)	18：00～18：30	第１回VTT小委員会	オンライン

ガバナー事務所からのお知らせ

◆月信５号 P.12 訃報について

神戸六甲ロータリークラブ 故・山野 仁 会員の享年の表記について正しくは下記の通りとなります。

誤：享年53

正：享年54

◆神戸ベイロータリークラブ 会長変更のお知らせ

神戸ベイロータリークラブ 2023-24年度　会長　前田　靖文

◆近日開催

■第３期ロータリー・リーダーシップ研究会（RLI）パートⅢ
日時：2024年２月11日（日・祝）９：30～17：00
場所：園田学園女子大学 新欅和館４階

■2025学年度米山記念奨学事業 学校説明会
日時：2024年２月22日（木）15：00～17：00
場所：三宮研修センター

■2024年会長エレクト研修セミナー（PETS）
日時：2024年３月16日（土）・17日（日）
場所：神戸ポートピアホテル　和楽
※PETS ２日間開催

■2024年地区チーム研修セミナー
日時：2024年２月18日（日）13：30～17：30
場所：神戸ポートピアホテル エメラルド

■2023-24年度 地区大会
日時：2024年３月２日（土）・３日（日）終日
場所：神戸ポートピアホテル

■2024年次期幹事研修セミナー（SETS）
日時：2024年３月30日（土）10：00～17：00
場所：神戸ポートピアホテル 和楽

Rotary
Region 1 , 2 & 3
コーディネーター NEWS
2024年1月号 No.1
発行：Region 1 , 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
ロータリー財団地域コーディネーター

柔軟で愛に満ちたクラブ運営をしましょう

第２地域 ロータリーコーディネーター補佐
若林 英博（東京麹町RC）

ロータリークラブは「正会員」と「名誉会員」の２種類の会員種類をもつことができます。

正会員の必須事項は １. 例会に出席すること ２. 会費を納めること ３. ロータリーの雑誌を購読することですが、会費の中にはRI人頭分担金、地区賦課金、例会費、事務局経費、場合によっては地区大会人頭分担金などが含まれます。

現在RIでは、クラブが多様な会員種類を作っても構わないことになっています。第2580地区のクラブでは、様々な会員種が出来ていますのでご紹介いたします。

▷ シニア会員・・・ご高齢の方の退会防止につながります。あるクラブでは、“年齢84歳以上、ロータリー歴20年以上、クラブ理事会でシニア会員になれるかどうかの可否を判断する”と基準を設けています。例会には月１回まで出席は無料、あとはメークアップ扱い（ビジター費をいただく）にします。会費は年10万円にしています。この制度は会員が仕事をリタイアして満額の会費負担が厳しい、ご高齢になられて体力的に厳しく家族の反対がある、そろそろロータリーを引退かという方を想定しています。最後までロータリアンでいたい、棺桶にバッジを付けて入りたいなど、心の底からロータリーが大好きな方に手を差し伸べる仕組みです。但し余裕のある資産家の方には、申し訳ないですが、84歳以上になられても一般の正会員のままでいていただくというクラブの規定があります。理由はクラブの運営費が不足するからです。

▷ 家族会員・・・正会員のご家族に入会してもらう仕組みです。例えばご主人がロータリアンで、ご子息が他団体に入会しているということはよくありますが、家族会員制度を利用して早くからロータリーに入会いただこうとする制度です。会費は正会員の半額とし、世帯で合計1.5倍の会費を支払います。例会にお二人揃って無条件参加可能としているクラブと、例会参加はお一人ずつなど、ある程度の出席制限を設けているクラブがあります。お二人揃って全ての例会に参加されると採算が合わなくなる可能性があるからです。

▷ WEB会員・・・コロナ禍でズームなどを使った、対面とバーチャルのハイブリッド例会が可能となりました。WEB会員は、例会にバーチャル参加することが基本となります。食事を召し上がらないので会費を低額に設定することができます。例会に対面参加した場合にはビジター費をいただきます。家族会や親睦旅行には対面で参加します。お仕事の関係で昼の例会に出にくい方、遠方の方、若くてまだ満額の会費負担が厳しい方に対して有効な制度です。

会員制度ではありませんが、衛星クラブの紹介をします。すでに全国的に衛星クラブが多くなってきました。衛星クラブの創設には８名以上の会員候補者が必要です。会員が20名以上になるとロータリークラブに変更することも可能です。衛星クラブの会員は、スポンサークラブの会員として会員数に加算されます。例会数や会費は衛星クラブが独自に決めますが、RI人頭分担金などは支払わなくてはいけません。現在年間６万円の会費としている衛星クラブが当地区では多いようです。

なお、これらの会員種類は全て各クラブの理事会で詳細を決めていただきます。どうぞクラブの活性化に役立ててください。皆様の周りで、新しい会員種類を設けたクラブや検討中のクラブがあれば、ぜひ詳細をご教授ください。機会があれば、全国のクラブへ情報共有したく思います。

入力フォーム　https://forms.gle/1hneFbkGGzPyJ7ay8

Rotary
Region 1 , 2 & 3
コーディネーター NEWS
2024年1月号 No.2
発行：Region 1 , 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
ロータリー財団地域コーディネーター

第２地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐
高良 明（川崎西RC）

（ポリオ根絶ショートストーリー）

1．昔々、世界で、ポリオという病気で困っている子供たちがたくさんいました。
2．しかし、世界中の誰も助けることができませんでした。多額のワクチンのお金が必要だったのです。
3．それを知ったロータリーは、「奉仕の理念」のもとに手を差し伸べることにしました。
4．その結果、人道的奉仕を志すロータリーの仲間たちによって多額の寄付が集まり、とうとうこの世からポリオをなくすまで「あと少し」のところまできました。
5．ポリオを根絶し、世界の子供たちが笑顔で暮らす日が間もなく訪れようとしています。

一人ひとりのエネルギーを結集すれば偉大な力が生じます。そのエネルギーの元（源泉）は一体何でしょうか。フィロソフィー（哲学）や、理念・目的といった人生・世界観に基づいた「考え方」であろうと思います。行動しなければ確かに何も生まれませんが、その行動を促す原動力となるものは、その「考え方」にあろうと思います。ロータリーは崇高な「超我の奉仕」の標語（フィロソフィー）を根底に、「奉仕の理念」を具体的に実践行動して形に現わさんとする職業人の集まりです。

ポリオ根絶の国際プロジェクトの成果も、「奉仕の理念」が具体的な実践行動として現れた結果です。「The Ideal of Service」＝「Take Action」でなければなりません。これはコインの表裏の関係と同じでありましょう。そこにロータリーたる真骨頂があると思います。

また、ロータリーは「何をするか（What）」を考えることはもとより大事なことでありますが、ロータリーは「何のためにそれをするか（Why）」を常に問いかけて、ロータリーの目的、そしてロータリーの使命を果たしビジョンを実現していかなければなりません。異なる職業人の集まりであるロータリーにとっての魅力は、何といってもDEIよろしく異業種の仲間との友情にありますが、その根底に流れる「奉仕の理念」を中心としたロータリーの価値観が、個々のロータリアンの心に灯をともし、これがロータリークラブの存続、あるいは社会の発展、世界の平和へと広がり、これらの紐帯となっていることだと思うのです。ロータリーの哲学を学び、これを仕事で、クラブで、社会で活用し行動してこそロータリーの存在価値・意義があり、そこにロータリーの魅力を演出する価値があると考えます。

このように真のロータリーの魅力を一般社会に伝えられれば、公共イメージの向上につながり、ロータリーの更なる発展向上の推進力になるものと信じます。世界中を「奉仕の理念」が当たり前の世の中にしたいものです。

Rotary
Region 1 , 2 & 3
コーディネーター
NEWS
2024年1月号 No.3
発行：Region 1 , 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
ロータリー財団地域コーディネーター

第２地域 ロータリー財団地域コーディネーター補佐
大谷 新一郎（相模原南RC）

第２地域ロータリー財団コーディネーター補佐を前任者田中賢三氏より引き継ぎ拝命しました大谷新一郎（2780地区・相模原南RC）です。伊藤RRFCの補佐として与えられた職務を粛々と務めてまいる所存です。

2023年11月19日に行われましたロータリー財団地域セミナーにおきまして、令和４年度に公益財団法人ロータリー日本財団に寄せられた寄付額は22億1,026万3千円と最高額を達成できた旨の報告がありました。皆様の財団に対するご理解とご協力に心から敬意を表する次第です。

このように寄付に対する考えが次第に高まってきたことには大いに喜ばしいことですが、「寄付の文化」はまだまだ日本において理解が希薄ではないかと思います。世界の現状に目を向けてみますと、「世界人助け指数」という評価の中で日本は2019-20年度では118位（119か国中）と下から２番目となっており、１位アメリカ・２位ミャンマー・３位ニュ ージーランドとなっております。

アメリカは2020年にアマゾン創業者（CEO）ジェフ・ベゾス氏が約100億ドルの寄付を行っておりますので当然１位でありましょうが、ミャンマーが過去３年１位であったことは子どものころから何らかの形で寄付という行為が日常生活に浸透していることがうかがえます。

では我が国において昔から全く寄付行為が無かったのかというとそうではありません。奈良時代には仏教僧が民間から奉加（ほうが）と呼ばれる寄付を集める活動がありましたし、江戸時代には商人たちが寄付を出し合って橋を建設したり子どもらのために寺子屋を開いたり慈善活動や後進育成に財産・時間を提供する文化がありました。

ところが明治に入り国の政策で地方自治体が中央集権体制となり「福祉をはじめとする公共サービスは行政がやるべきもの」という意識が植え付けられた結果、寄付行為や人助けの精神が乏しくなってしまいました。

しかし近年我が国も次第に寄付に対する考え、理解が向上してきたように思えます。日本は自然災害が比較的多い所で過去において大きな震災等がありました。1923年の関東大震災そして1995年の阪神淡路大震災、まだ記憶に新しい2011年の東日本大震災とたて続きに見舞われました。どの時も日本はもとより世界中から大きな支援をいただき、国内では人助けの理念のもとボランティア活動が活発に行われるようになり、災害にあった人たちへ個人が個人で出来る範囲の支援が顕著になってまいりました。

近年の我が国の寄付額を見ますと2010年（4,900億円）→ 2020年（１兆2,200億円）となり徐々ではありますが「良いことをしよう」という考えが進んできたのではないかと思います。その「寄付の文化の向上」をロータリークラブが率先して進め、国民の皆様に啓蒙していくのも大きな活動のひとつだと思います。1917年にロータリー財団を創設したアーチ Ｃ・クランフの「世界でよいことをしよう」を実行し、世界平和を目指していきたいと思います。

新会員紹介・一緒にロータリーライフを楽しみましょう（敬称略・クラブ順）

尼崎東

野村　佳生
保育園
2023/12/13入会

上田　哲也
金融商品仲介業
2023/12/20入会

川西猪名川

中　博司
スポーツ
1/1入会

西川　裕二
総合商業
1/1入会

芦屋

田渕　昌和
リフォーム
2023/11/8入会

神戸南

野村　啓輝
化粧品卸販売業
2023/9/11入会

神戸ベイ

吉野　誉文
弁護士
1/9入会

西脇

藤原　由樹
情報提供サービス
2023/12/6入会

洲本

島田　陸
理学療法士
1/16入会

姫路南

藤本　俊明
建築材料D
1/15入会

福山　敦久
プラスチック製品MD
1/15入会

ご寄付ありがとうございます（敬称略・クラブ順）

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

上田　邦彦
（川西）

ポール・ハリス・フェロー

野村　啓輝
（神戸南）

中島　典子
（神戸西）

合田新一郎
（神戸須磨）

山口　一幸
（神戸須磨）

正木　隆資
（加古川）

ポール・ハリス・フェロー

高浜　佳司
（加古川）

米山功労者メジャードナー（11回）

北　政十郎
（川西）

米山功労者（5回）

徳永順一郎
（川西）

米山功労者（4回）

中山　行夫
（伊丹）

芝田　一夫
（川西）

太田　博
（西宮）

米山功労者（3回）

三宅　圭一
（川西）

ご寄付ありがとうございます（敬称略・クラブ順）

米山功労者（3回）

竹内　博
（西宮）

米山功労者（2回）

山岡　英次
（川西）

日高　厚
（西宮）

犬塚　雅晴
（西宮）

田和　良久
（西宮）

柏木　喜義
（明石東）

米山功労者（1回）

遠藤　剛
（西宮）

藤田　邦夫
（西宮）

坂戸　秀彰
（西宮）

澤田　朗
（西宮）

髙橋　秀仁
（西宮）

米倉　康博
（西宮）

ご冥福をお祈り申し上げます

故 吉田　長生 氏（小野加東）
2023年11月13日　享年89

国際ロータリー第2680地区 ロータリークラブ　2023年12月会員数報告

グループ	クラブ名	例会数	会員数 7月1日（期首） 総数	うち女性	12月の入退会 入会	退会	12月末 総数	うち女性	本年度累計 入会	うち女性	退会	うち女性	増減	うち女性
尼崎	尼崎	3	30	3	0	0	30	3	0	0	0	0	0	0
	尼崎北	3	37	0	0	3	35	0	1	0	3	0	-2	0
	尼崎東	3	56	3	3	1	59	4	5	1	2	0	3	1
	尼崎西	3	34	3	0	1	46	4	13	2	1	1	12	1
	尼崎南	3	31	6	0	0	33	7	2	1	0	0	2	1
	尼崎中	3	13	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0	0
	小計		201	15	3	5	216	18	21	4	6	1	15	3
阪神第一	伊丹	3	40	0	0	1	39	0	0	0	1	0	-1	0
	川西	4	24	2	0	0	24	2	1	0	1	0	0	0
	川西猪名川	3	14	3	0	0	14	3	0	0	0	0	0	0
	西宮イブニング	3	11	2	0	0	12	2	1	0	0	0	1	0
	小計		89	7	0	1	89	7	2	0	2	0	0	0
阪神第二	西宮	3	54	1	0	0	55	1	3	0	2	0	1	0
	芦屋	3	42	0	0	1	43	0	2	0	1	0	1	0
	甲子園	3	45	3	0	0	46	3	1	0	0	0	1	0
	西宮夙川	3	27	2	0	1	26	2	0	0	1	0	-1	0
	芦屋川	4	26	3	0	2	24	3	0	0	2	0	-2	0
	西宮恵美寿	3	19	3	0	0	21	3	2	0	0	0	2	0
	小計		213	12	0	4	215	12	8	0	6	0	2	0
阪神第三	宝塚	3	46	13	0	1	47	14	3	1	2	0	1	1
	宝塚ユニバース ロータリー衛星クラブ	3			0	0			0	0	0	0		
	三田	3	13	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0	0
	篠山	3	40	0	0	1	39	0	1	0	2	0	-1	0
	柏原	4	41	0	0	0	42	0	1	0	0	0	1	0
	宝塚武庫川	3	32	2	0	0	32	2	0	0	0	0	0	0
	三田南	2	5	0	0	0	6	0	1	0	0	0	1	0
	HYOGO REC	4	14	2	0	0	14	2	0	0	0	0	0	0
	小計		191	17	0	2	193	18	6	1	4	0	2	1
神戸第一	神戸	3	157	4	0	1	155	4	3	0	5	0	-2	0
	神戸東	3	110	1	0	5	106	1	1	0	5	0	-4	0
	神戸東灘	4	29	5	0	1	30	6	2	1	1	0	1	1
	神戸南	3	86	0	1	1	87	0	2	0	1	0	1	0
	神戸六甲	3	11	0	0	2	8	0	0	0	3	0	-3	0
	神戸ベイ	3	12	1	0	1	11	1	0	0	1	0	-1	0
	小計		405	11	1	11	397	12	8	1	16	0	-8	1
神戸第二	神戸西	4	54	9	0	1	52	8	1	0	3	1	-2	-1
	神戸須磨	3	35	1	0	0	37	1	2	0	0	0	2	0
	神戸垂水	3	21	6	0	2	19	6	0	0	2	0	-2	0
	神戸西神	3	34	2	0	0	33	2	0	0	1	0	-1	0
	神戸中	2	31	7	0	1	31	7	1	0	1	0	0	0
	神戸モーニング	4	25	3	0	0	26	4	2	1	1	0	1	1
	小計		200	28	0	4	198	28	6	1	8	1	-2	0
東播第一	明石	3	32	2	0	0	33	2	1	0	0	0	1	0
	明石東	3	47	4	0	1	48	4	2	0	1	0	1	0
	明石北	2	40	0	0	0	42	0	2	0	0	0	2	0
	小計		119	6	0	1	123	6	5	0	1	0	4	0
東播第二	高砂	4	32	2	0	0	34	2	2	0	0	0	2	0
	加古川	3	73	0	0	0	73	0	0	0	0	0	0	0
	加古川中央	3	60	2	0	1	58	2	0	0	2	0	-2	0
	高砂青松	3	39	3	0	0	39	3	0	0	0	0	0	0
	加古川平成	3	17	3	0	0	17	3	0	0	0	0	0	0
	小計		221	10	0	1	221	10	2	0	2	0	0	0
東播第三	三木	4	48	1	0	1	47	1	0	0	1	0	-1	0
	小野加東	3	39	0	0	0	40	0	2	0	1	0	1	0
	北条	4	33	2	0	0	33	2	0	0	0	0	0	0
	西脇	4	47	1	1	1	47	1	2	0	2	0	0	0
	三木みどり	3	27	1	0	0	28	1	1	0	0	0	1	0
	小計		194	5	1	2	195	5	5	0	4	0	1	0
淡路	洲本	3	30	1	0	0	30	1	1	0	1	0	0	0
	南淡路	4	23	4	0	1	22	4	0	0	1	0	-1	0
	淡路三原	4	13	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0	0
	津名	3	36	2	0	0	37	2	1	0	0	0	1	0
	あわじ中央	3	18	0	0	0	18	0	0	0	0	0	0	0
	小計		120	7	0	1	120	7	2	0	2	0	0	0
西播第一	姫路	4	81	0	1	1	84	0	5	0	2	0	3	0
	姫路南	4	75	0	1	1	76	1	3	1	2	0	1	1
	姫路西	4	54	1	0	0	56	1	2	0	0	0	2	0
	姫路東	4	62	5	0	0	66	5	4	0	0	0	4	0
	神崎	3	26	0	0	3	23	0	0	0	3	0	-3	0
	姫路中央	2	5	1	0	0	5	1	0	0	0	0	0	0
	小計		303	7	2	5	310	8	14	1	7	0	7	1
西播第二	赤穂	2	34	0	0	0	34	0	0	0	0	0	0	0
	相生	3	28	2	0	0	27	2	0	0	1	0	-1	0
	龍野	4	32	3	0	1	32	2	2	0	2	1	0	-1
	上郡佐用	4	27	6	0	1	26	6	1	1	2	1	-1	0
	小計		121	11	0	2	119	10	3	1	5	2	-2	-1
但馬	豊岡	4	35	1	0	0	40	1	5	0	0	0	5	0
	生野	4	22	1	0	0	22	1	0	0	0	0	0	0
	香住	2	12	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0
	豊岡円山川	4	30	0	0	0	29	0	0	0	1	0	-1	0
	和田山	3	22	1	0	0	22	1	0	0	0	0	0	0
	小計		121	3	0	0	125	3	5	0	1	0	4	0
合計	68RC（+1RSC※）		2,498	139	7	39	2,521	144	87	9	64	4	23	5

※RSC＝ロータリー衛星クラブの略称　※宝塚ユニバースRSCの会員数は、宝塚RCの会員数に含まれます。

国際ロータリー第2680地区 ローターアクトクラブ 2023年12月会員数

クラブ名	会員数 12月末 総数	うち女性	クラブ名	会員数 12月末 総数	うち女性
姫路RAC	7	3	豊岡RAC	8	4
神戸RAC	8	3	芦屋川RAC	6	2
淡路RAC	2	0	加古川中央RAC	3	2
神戸須磨RAC	9	3	尼崎西RAC	8	5
柏原RAC	1	0	合計 9RAC	52	22

◆ロータリークラブ数 …… 68RC
…… 1RSC
◆2023年7月1日　RC+RSC会員数 …… 2,498人
◆2023年12月末　RC+RSC会員数 …… 2,521人
◆2023年12月末　RC+RSC女性会員数…… 144人
◆期首からの増減（RC+RSC） ……23人増
◆期首からの女性増減（RC+RSC） …… 5人増

◆ローターアクトクラブ数 …… 9RAC
◆2023年12月末　RAC会員数……52人
◆2023年12月末　RAC女性会員数……22人

※RAC：2023年12月末時点の情報を記載しております。

国際ロータリー第2680地区
ガバナー　安行　英文

事務所
〒650-0046　神戸市中央区港島中町6-10-1 神戸ポートピアホテル本館7階722号室
TEL：078-304-2680　FAX：078-304-2681
E-mail rid2680@abelia.ocn.ne.jp